

第 50 回 緊急時対策指針検討会 議事録

1. 開催日時 2020年5月15日(金) 10時00分～12時00分
2. 開催場所 日本電気協会 4階 C会議室 (Web会議)
3. 出席者(順不同, 敬称略)
出席委員: 卜部主査(東京電力HD), 山本副主査(関西電力),
前田(日本原子力発電), 山田(北陸電力), 小川(北海道電力),
鈴木(東北電力), 三村(中国電力), 迫田(九州電力), 曾根(中部電力)
(計9名)
委員代理: 清水(四国電力) (計1名)
常時参加者: 宮崎(九州電力), 津田(中部電力), 江良(北海道電力),
岩城(関西電力), 梅田(日本原子力発電), 高井(JANSI) (計6名)
オブザーバー: 高橋(東京電力HD) (計1名)
事務局: 葛西(日本電気協会) (計1名)
4. 配付資料
資料 50-1 緊急時(旧防災)対策指針検討会委員名簿
資料 50-2 第49回緊急時対策指針検討会議事録(案)
資料 50-3-0 緊急時対策指針前後比較表案(山口分科会長巻頭言)
資料 50-3-1 緊急時対策指針前後比較表案(本文)1～3.(北海道電力)
資料 50-3-2 緊急時対策指針前後比較表案(本文)1～7.(東北電力)
資料 50-3-3 緊急時対策指針前後比較表案(解説文章)(中国電力)
資料 50-3-4 緊急時対策指針前後比較表案(解説)解説表, 解説図(四国電力)
資料 50-3-5 緊急時対策指針前後比較表案(解説)通報文(北陸電力)
資料 50-3-6 緊急時対策指針前後比較表案(EAL)1～別表1(原電)
資料 50-3-7 緊急時対策指針前後比較表案(EAL)別表BWR(中部電力)
資料 50-3-8 緊急時対策指針前後比較表案(EAL)別表PWR(九州電力)
資料 50-3-9 緊急時対策指針前後比較表案(参考資料)(JAEA)
資料 50-4-1 JEAG4102改定案(中間報告)に関する運転・保守分科会から頂いた意見等
(北海道電力)
資料 50-4-2 原子力発電所の緊急時対策指針(JEAG4102-2015)の改定について(東京電力)
資料 50-4-3 規格制改定時に対象とした国内外の最新知見とその反映状況(関西電力)
資料 50-4-4 JEAG4102改定案【原本】(参考)
資料 50-4-5 JEAG4102改定における検討会コメント対応リスト(参考)
5. 議事
事務局より, 本会にて, 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後, 議事が進められた。

- (1) 代理出席者，常時参加者，説明者，オブザーバ，委員定足数，配布資料の確認
事務局から配付資料の確認の後，資料 50-1 を用いて代理出席者，オブザーバーの紹介があり，主査により承認された。出席委員数は代理を含め 10 名で，決議に必要な「委員総数の 3 分の 2 以上の出席(7 名以上)」を満たしていることが確認された。
- (2) 前回議事録の確認
事務局から，資料 50-2 に基づき，前回議事録案を紹介し，特にコメントはなく承認された。
- (3) 審議・報告事項 他
1) JEAG4102 改定案の前回検討会からの変更について
各委員から，資料 50-4-5 に基づいて，必要な資料を使用して，JEAG4102 改定案の前回検討会からの変更について説明があった。

【主なご意見・コメント】

- a) 前後比較表分科会上程案（本文）1.～3.(北海道電力)
・ 東北電力からの 3 つの追加コメントは修正済み。
・ 事務局に確認だが，法令の引用箇所は句読点も法令に合わせるということで良いか。
→ 基本的には，そのようにお願いします。
- b) 前後比較表分科会上程案（本文）1.～7.(東北電力)
・ 資料 50-4-5 の 15 番の東京電力のコメントで，4.2.2 のタイトルで「緊急時の管理と運営の確立」と，「緊急時の管理」という言葉を使っているが，事業者の主体的な活動と見えないため，「緊急時の活動」という案が示された。しかし，「活動」だと，範囲が広すぎ，ほかの所も対象となってしまう。4.2.2 で行っているのが，体制の確立，運営の確立なので，緊急時の体制と運営の確立との趣旨で，「管理」を「体制」に変更している。その他は，コメントに従い修正している。
→ 「体制」に修正することについて拝承。
- c) 前後比較表分科会上程案（解説文章）(中国電力)
・ コメントは全て採用させて頂いている。コメント外の修正で解説 4 頁に JIS の規格が記載されている。JIS の最新版を確認したところ，変更前の空間放射線積算線量計の JIS Z-4314, JIS Z-4320 が廃止されていたのでこちら削除をしている。その後，四国電力より，当該 JIS 規格が JIS Z-4345, 4346 に置き換えられているという指摘があり，置き換え後の JIS について追記をさせて頂きたい。続いて解説 13 頁について，東北電力から指摘を受けて，解説 3-20 について，解説 3-21 の 4.にあるように，必要と認めた場合の記載を加えている。解説 21 頁の解説 4.6 の「緊急時管理」は，本文の修正案に合わせて「緊急時の体制」に変更した。
- d) 前後比較表分科会上程案（解説）解説表，解説図(四国電力)
・ コメントリストについては，全て対応している。それ以外の部分で中国電力殿と同様に JIS を見直している。
・ 蛍光ガラス線量計は JIS Z-4346 なのか。モニタリングの JIS を適用するのが正しいのか。JIS Z-4346 ではなくて，JIS Z-4345 で JIS Z-4346 ではないかと思う。
→ 資料 50-3-4-2 の最終頁に，環境モニタリングに関しては，JIS Z-4346 に示されていると

のことで、ここは空間積算量計との位置づけであることから JIS Z-4346 としている。

- ・ 本件各社の意見を伺おうと思うが如何か。
 - 了解。
- e) 前後比較表分科会上程案（解説）通報文（北陸電力）
- ・ コメントについては全て対応している。相談だが、49 番のコメント、こちら BWR に対するコメントだが、PWR については、どうすれば良いか。主蒸気逃し弁が開放しなくなった時刻という記載があるが、これを残すか否かをお聞きしたい。
 - PWR では、2 次系なので環境への放射性物質の放出はないので削除しても良いかと思う。
 - この事象に関しては、配管破断が含まれるので残した方が良いと思う。
 - 配管破断を含むが、2 次系なので、削除するには、理由を明確にする必要があると思う。
 - 配管破断が入るので今のところは残すと言うことで良いかと思う。
 - ・ では、BWR は削除し、PWR は残すと言うことにする。
 - ・ 他にも同様な部分があるが、削除と言うことで良いか。
 - それでよいと考える。
- f) 前後比較表分科会上程案（EAL）1.～別表 1(原電)
- ・ 言葉の定義等については全面修正している。62 番の部分については現状通りとしている。もう一点が 69 番も現状通りとしている。関連して、同じようなコメントがもう一点あり、82 番、83 番も臨界事故の記載削除とのことだが、据え置きたいと考えている。
 - ・ 62 番だが定義がなされていないと記載すると、全くなされていないと言うように見えるため、実際には引用もされており見直した方が良いと思う。
 - 62 番は、「なされていないものがあるために」に変更する。
 - ・ 69 番、臨界事故なのだが、放射性物質の放出に関してそう言い切れるのかと思う。
 - 原子力規制委員会の解説を引用している。臨界事故とはどういうものなのかということでそこを引用している。
 - ・ その件は後で確認する。
 - ・ 64 番は現状の指針を張り付けている。
- g) 前後比較表分科会上程案（EAL）別表 BWR(中部電力)
- ・ 基本的に、コメントについては全て拝承と言う形で対応した。一部、東北電力よりコメントを頂いた。87 番の SE05 と GE05 に、ただし文を追加しては如何と言うことだが、すでに記載されている内容でカバーできると思っている。また、規制庁との面談で、判断に迷ったら通報しても良いと言うことで、記載を見送っている。あと、88 番で日本原子力発電からの解釈の部分だが、コメントリストでは記載してないが、本文では対応している。
 - 87 番について、特に問題ない。
- h) 前後比較表分科会上程案（EAL）別表 PWR(九州電力)
- ・ コメントはすべて反映済み。
 - ・ 本日送付頂いた統合版とかを見ていると、コンマの部分が半角、全角が入り混じっていると思うが、そのへんは、改めて統一するのか。
 - フォントの統一というのは皆で実施して頂いたと思っている。
 - ・ Century で全角、半角と言っても変換が出来ないと思うが。
 - 見て気づいた所を直すと言うことで対応する。

2) 分科会用資料について

委員から、資料 50-4-1 から資料 50-4-3 に基づいて、分科会用資料について説明があった。

【主なご意見・コメント】

- ・ 資料 50-4-2 の 5 頁のハッチングの件だが、今回 EAL の 30, 31 のレベルを変えている件だが、黄色ハッチングが必要と思うが。
- 黄色ハッチングに修正する。
- ・ 資料 50-4-2 の 5 頁は PWR の例となっているが、共有のものとした方が良い。資料はあるので、後で送付する。
- ・ 資料 50-4-2 の 6 頁の EAL41 は、BWR でだいぶ変わっているので、ハッチングした方が良いと思う。
- ハッチングする。
- ・ ハッチングだが、各社の理解が変わったところは、ハッチングするということか。
- そこまで細かくすると、全てハッチングと言うことになるので、中身が変わった部分のみハッチングすることとする。
- ・ これまで出されたコメント等は反映し、6 月の分科会に上程することとしたい。誤記チェック等で新たに出された気づき事項の反映については主査に一任いただきたい。今回の修正案について承認を取りたいと考えている。
- ・ 4/5 以上の賛成で承認となる。全員賛成で承認され、分科会に上程される。

3) JEAG4102 の今後の進め方について

事務局より、JEAG4102 の今後の進め方について説明があった。

- ・ 誤記チェック等の書面投票については 6 月 1 日までに終了させる。
- ・ 内容にかかわるような変更がある場合にはもう一度審議となるが、それ以外については主査一任とする。
- ・ 分科会は 6 月 10 日で、山口先生への説明は 6 月 8 日となるので、6 月 1 日には書面投票を終了させる。
- ・ 原本の頁設定がずれているので、各分担分の原本を修正後、最終的に事務局で修正する。
- 今日のコメントを反映したものについては、原本と、前後比較表を送付して、全体の作業は事務局で実施し、原本側で最終チェックを実施する。
- ・ 事務局で、原本は既に結合しているので、修正箇所を原本に貼り付ける形で進めたい。
- 原本については変更履歴の入ったものを事務局に送付する。合わせて前後比較表も送付することとする。
- ・ 巻頭言は、山口先生の名前が出るため事前に了解を得る。

4) その他

- ・ 3 月に予定されていた、原子力規格委員会については、日本電気協会としては、6 月下旬から、7 月上旬にかけて、数回に分けて実施すると考えており、本件を 7 月の原子力規格委員会に入れようと考えている。
- ・ 山口分科会長への説明については、現状東大に入れられない状況なので、別途場所等は連絡する。
- ・ 分科会、委員会でコメントがあった場合には、検討会を実施する方向で、次回検討会の予定に関しては、事務局を通して進める。
- ・ 5 月 20 日までに原本の WORD の修正版を事務局に送り、5 月 21 日に合本版を各委員に配布し、誤記チェックのフォーマットに記載する。5 月 22 日に原本の合本版を仕上げ、それで誤記チェックをして、6 月 1 日までに提出する。前後表は 6 月 8 日の分科会長の説明に間に合えばよいと考えるが、事務局の作業もあるので 6 月 3 日にすべて仕上げる。
- ・ 資料 5-4-3 の(1)の「国内の事業者の防災訓練から得られた知見」に記載のある、原子力防災訓練発表会からの知見については、JANSI では一般公開のホームページにおいて、

当該活動について紹介しているものの、そこから得られた、知見など具体的な内容については、会員さん限定としている。JEAGの活動は、一般にも開示されていることから、本質問への回答にあたっては、別途関係者で協議し、確認する。

以 上